

# 令和2年度 第1回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会 要旨

1 日時：書面開催（令和2年6月17日資料発送、9月29日提言意見集約送付）

## 2 委員：

前秋田考古学協会	会長	小松 正夫	様（委員長）
美郷町立千畑小学校	校長	高橋 正規	様（副委員長）
柵の案内人 大仙市ほたるの会		大西 英子	様
南教育事務所仙北出張所	所長	加藤 勝則	様
横手市立雄物川小学校	校長	瀬田川 仁	様
仙北地域振興局総務企画部地域企画課	課長	堀川 克利	様
大仙市立神岡小学校	校長	田口 雅人	様
大仙市立高梨小学校	校長	照井 政裕	様
ロード電子工業株式会社	代表取締役社長	山崎 裕子	様
秋田大学	名誉教授	渡部 育子	様

## 3 事務局：

磯村 亨	所長（兼 払田柵跡調査事務所長）
藤原 健	副所長
柴田 卓也	副主幹（兼）総務班長
袴田 道郎	主任文化財専門員（兼）中央調査班長
村上 義直	副主幹（兼）調査班長
吉川耕太郎	副主幹（兼）資料管理活用班長
谷地 薫	（兼）文化財主査（本務 払田柵跡調査事務所調査班長）
工藤 伸也	資料管理活用班学芸主事

## 4 配付資料（目次）：

- （1）令和元年度 業務実績資料
  - ① 令和元年度事業報告（調査関係）
  - ② 令和元年度事業報告（活用・普及関係）
  - ③ 令和元年度史跡払田柵跡調査成果の普及と関連活動
  - ④ 各種活用事業別参加者数の推移
  - ⑤ 学校の利用状況
- （2）令和2年度 運営協議会資料
  - ① 令和2年度秋田県埋蔵文化財センター運営協議会委員名簿
  - ② 令和2年度秋田県埋蔵文化財センター組織及び職員
  - ③ 令和2年度発掘調査・整理、確認調査一覧
  - ④ 令和2年度活用・普及事業計画（含変更及び中止）
  - ⑤ 令和2年度払田柵跡調査事務所資料管理活用計画
  - ⑥ 秋田県埋蔵文化財センター運営協議会規定

## 5 御意見・御提言（抜粋）：

- ・ セカンドスクールの利用については、学習指導要領が改訂になったことにより、以前よりも時期的に利用しやすくなったと考えらる。今年は学校側にも特別な事情があるが、今後は利用が伸びることが予想されるので、柔軟に対応願いたい。
- ・ 出前ミニ展示については、ケースを準備いただいたおかげで、より「本物感」「貴重感」が高まったが、最も多かった子どもたちからの質問が「これ本物？」であった。本物の展示であることが分かるような工夫も必要か。また、関連資料の貸し出し等も効果があると考えられる。
- ・ 令和2年度の活用・普及事業計画の中止は、新型コロナウイルス感染拡大の防止と思われるが、児童等を対象とした体験教室などはできる限り実施し、今後も感染予防対策を行いながら、郷土の歴史や文化などを実際に見て触れて学ぶ機会を県民の皆様に提供願いたい。
- ・ 計画されたいろいろな事業が中止を余儀なくされている状況だが、落ち着き次第、一般向けの金曜講座が昨年とても好評であったので、是非継続していただきたい（払田柵跡についても）。
- ・ 学校が利用できる様々なプログラムがあるようだが、利用件数はまだ少ない。埋文の事業内容をいかに学校関係者に知ってもらうか、さらなる工夫、努力が必要と考える。
- ・ センター前の県道を車で走っていても埋蔵文化財センターであることが分かりづらい。一目で分かるような看板表示等をするにはできないものか。
- ・ 払田柵跡調査50周年記念事業について、①センターでの特別展、②秋田県内での巡回展、③関東、関西での特別企画展、④記念誌等の刊行等が考えられるが、他県施設の周年事業を参考にするなどして早々に着手すべきと考える。

## 6 センターより（抜粋）：

御意見、御提言に感謝いたします。当センターは今後も文化財の調査・研究事業を主軸としながら、地域との繋がりを大切に、学校関係や一般県民に対する活用・普及と文化財管理業務をより一層充実させて参りたいと思います。今後も御指導と御支援をよろしくお願いいたします。